

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年02月15日

計画の名称	潤いと安心のまち 刈谷の下水道（重点計画）												
計画の期間	平成28年度～平成31年度（4年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	刈谷市												
計画の目標	下水道整備を推進し、安心・安全・潤いのあるまちを創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,504	A	1,504	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H31末)
1	下水道処理人口普及率の向上【91.2%（H28当初）⇒92.8%（H31末）】 下水道処理人口普及率=供用開始区域内人口（人）／行政人口（人）×100	91%	92%	93%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	刈谷市	直接	刈谷市	管渠（ 污水）	新設	北部第2処理分区（未普及）	污水管 Φ=150~200mm L=2,353m	刈谷市	■	■	■	■		262		—
	A07-002	下水道	一般	刈谷市	直接	刈谷市	管渠（ 污水）	新設	富士松第1処理分区（未普及）	污水管 Φ=150~250mm L=1,175m	刈谷市	■	■				167		—
	A07-003	下水道	一般	刈谷市	直接	刈谷市	管渠（ 污水）	新設	富士松第1処理分区（未普及）	污水管 Φ=150mm L=173m	刈谷市				■		17		—
	A07-004	下水道	一般	刈谷市	直接	刈谷市	管渠（ 污水）	新設	吹戸第1処理分区（未普及）	污水管 Φ=150~200mm L=1,606m	刈谷市	■	■				241		—
	A07-005	下水道	一般	刈谷市	直接	刈谷市	管渠（ 污水）	新設	南部処理分区（未普及）	污水管 Φ=150mm L=1,141m	刈谷市		■	■	■		116		—
	A07-006	下水道	一般	刈谷市	直接	刈谷市	管渠（ 污水）	新設	小垣江処理分区（未普及）	污水管 Φ=150~250mm L=2,224m	刈谷市	■	■	■	■		491		—

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	刈谷市	直接	刈谷市	管渠（ 污水）	新設	東刈谷処理分区（未普及 ）	污水管 Φ=150～250mm L=1, 632m	刈谷市	■	■				210		—
											小計						1,504		
											合計						1,504		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

刈谷市水資源部において実施

事後評価の実施時期

事業終了後、令和3年2月実施

公表の方法

刈谷市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

普及率が91.2%から92.7%に増加したことによって、生活環境が改善し、公共用水域の水質が保たれている。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

今後は、効率的に整備を進めるとともに、下水道接続のPRを推進し水洗化率の向上に努める。

